

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [傾聴](#) | [傾聴トレーニング \(7\)](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

傾聴トレーニング (7)

傾聴を中心としたカウンセリングで、もっとも多く使われる技法が、共感的な「伝え返し」である。

第2ステップ

「共感的な伝え返し」の練習

40代ごろのロジャーズのカウンセリングにおける応答の8割が、この「伝え返し」であったという。

ロジャーズ自身は、晩年、「伝え返し」について短い論文を書いている。

「カウンセラーとしての私の見解を言えば、私は『感情を伝え返そう』とはしていません。

クライアントの内的世界についての私の理解が正しいかどうかを確かめようとしているのです。

クライアントがそれを今体験しているとおりに私がそれを見ているか、確かめようとしているのです。

私の応答には、次のような無言の問いが含まれています。

『あなたのなかでそれはこんなふうになっていますか？』

『私は、あなたが今体験している個人的な意味の色合いとか味わいを、ちゃんとキャッチできていますか？』

『もしそうできていなかったら、私は自分の受け取り方をあなたのそれにピタッとあわせたいのです』

その一方、クライアントの側から見れば、私たちはクライアントが現在体験しつつあることの鏡を提供しているわけです。

その鏡に映し出され、別の人の目を通して見られた感情や個人的意味は、よりシャープになっていくようです。

だから私は、『感情の伝え返し』ではなく、『理解の確かめ』とか『受け取りのチェック』という言葉を使うことを提案します。

こういった言葉のほうが、より正確であると思えるからです。

カウンセラーのトレーニングにも有益です。

『伝え返そう』とするのに比べると、相手の内的世界についての自分の理解や受け取りを確かめようとすることのほうが、応答したり質問したりする際の健全な動機となるようにも思います』

「伝え返し」は単なるオウム返しではない。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>>[一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.